



佐世保らしい景観

豊かな自然によって

もたらされた景観

本市の景観は、これまでさまざまに要因で形づくられてきました。豊かな「自然」もその一つであり、この自然という視点で、本市の景観を見てみると次のような特徴があります。

- ① 中心市街地が、佐世保湾と、烏帽子岳、弓張岳、天神山の山並みに囲まれており、その中に都市機能がコンパクトにまとまっている
- ② 山間部は、県北最高峰の国見山を中心として、小佐々、三川内、南風崎まで山並みが連なっており、棚田や茶畑、田園集落と程よく調和している
- ③ 九十九島周辺は、複雑に入り組んだりアス式海岸が大小の島々と一体化して見事な景観を形成している
- ④ 宇久島、黒島、高島など美しい島々が数多くある など

長い年月をかけて自然によってもたらされた本市の景観は、本市固有のもので、他都市にない美しさや独自性があり、最も「佐世保らしい景観」の一つと言えます。

独特の歴史・文化に

育まれてきた景観

本市の景観の中には、本市が歩んできた歴史や文化から生まれてきたものも多くあります。この「歴史・文化」とい

【写真の説明】

①天神山公園から見える中心市街地②美しい曲線が幾重にも重なる山あいの棚田(松瀬町)③入り組んだ海岸線が変化に富んだ表情を見せる九十九島④平戸往還の一部だった峰坂の階段⑤丘陵地の緑と海の色が鮮やかな宇久島⑥佐世保のランドマーク(その土地を象徴する建造物など)的な存在でもある佐世保重工業のクレーン群⑦近代化遺産としても非常に貴重な佐世保湾周辺の赤レンガ倉庫群⑧赤崎方面から見える市街地の夜景⑨窯を造る時に使われた耐火レンガ「トンバイ」の廃材や、使い捨ての窯道具を赤土で固めた三川内皿山の堀⑩国の重要文化財に指定されている「黒島天主堂」

う視点で見ると、次のような景観も「佐世保らしい景観」であると言えます。

- ① 赤レンガ倉庫や佐世保重工業のドック、クレーンなど、佐世保の歴史が感じられる佐世保湾周辺の景観
- ② 無線塔や弾薬庫、砲台跡など近代化遺産が点在する針尾や俵ヶ浦などの景観
- ③ 四百年の歴史と文化を伝える三川内皿山の煙突や窯などが残る景観
- ④ 茶市や平戸往還など、歴史や地域文化が感じられる早岐地域の景観
- ⑤ 明治から昭和初期に築造された、佐々川沿い(世知原・吉井地域)の石橋がある景観

このほか黒島天主堂や相浦川沿いの洞穴遺跡、JR佐世保線や松浦鉄道沿いの

鉄道遺産など、本市には数多くの歴史・文化的な景観が残されています。

暮らしやまちづくりの中で

育まれてきた景観

わたしたちの毎日の「暮らし」。実はその積み重ねによって育まれてきた佐世保らしい景観もあります。例えば、平地が少ないという地理的特性によって広がった斜面地の住宅街。こうした風景も、佐世保らしい景観の一つと言えるのではないのでしょうか。

また本市の「まちづくり」の中から生まれた佐世保らしい景観もあります。九十九島の景観を活用し、自然に溶け込む形で観光振興につなげている西海パールリゾート周辺の風景や、周囲の環境に配慮しながら、水と緑と花による美しい街並みを実現したハウステンポスなどは、その代表的な例と言えます。

佐世保の景観に愛着を

自然に恵まれ、独特の歴史・文化があり、さまざまなまちづくりが進められてきた佐世保。市民の皆さんが持つ「佐世保らしい景観」のイメージも千差万別だと思えます。その佐世保らしい景観を今後守り、育んでいくためには、市民の皆さんが佐世保の景観に関心を持ち、愛着を深めてもらうことが欠かせません。市民、事業者、行政が一体となって、佐世保らしい景観づくりを進めましょう。

